I.T.C Innoshima Technical Center
Public relations magazine

日本財団 The Nippon Foundation 助成事業
第10号
平成23年4月1日発行
制作：運営協議会事務局

「東北地方太平洋沖地震」に被災されました皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

平成22年度因島技術センターPSPC塗装性能基準対策講座を実施しました!!

（会場内の様子）

（講師の　山上　和正　氏）

（講師の　小寺　一也　氏）

平成23年３月25日（金）、株式会社ｱｲ・ｴｲﾁ・ｱｲ・ｱﾑﾃｯｸ取締役の山上和政氏、同塗装課班長の小寺一也氏を講師にお招きして「因島技術センターＰＳＰＣ塗装性能基準対策講座」を実施しました。この度の講座では募集定員30名のところ42社･119名もの申し込みがあり、急遽会場を因島技術センターから尾道市芸予文化情報センター多目的ホールに変更することとなりましたが、山上取締役の分かりやすい制度説明から小寺班長の検査器具を使った説明まで、密度の濃い内容となりました。中国・四国地方を中心に東海地方、九州地方からの参加者も多く、熱心な質疑応答がありました。山上様、小寺様、誠にありがとうございました。

遂に、因島技術センターの専用ホームページが開設されました!!

皆様待望の因島技術センター専用ホームページが遂に開設されました!!新着情報や研修情報のほか、センター概要から研修科目の紹介まで盛りだくさんの内容となっています。今後も、因島技術センターの情報発信ツールとして様々な情報を随時UPしていく予定です。将来的には研修の申し込みや関係書類のダウンロードなどにも対応したいと思いますので、是非、御覧になってください!!

＊　リンク設定は喜んでお受けしますので、御連絡をお願いします!!
　　連絡先　尾道市因島総合支所しまおこし課　担当：若住堅太郎

ＨＰアドレス
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

Next研修情報

◎　平成23年度因島技術センター初任者研修
　　平成23年４月６日（水）～６月30日（木）＊58日間
　　於：Hitz日立造船株式会社因島工場内
　　研修生数59名

安全への取り組み!!

～重大労働災害ゼロを目指して～
これまでの安全体感研修修了者数

現在
1646人

修了者が1,500名を超えました!!

尾道/因島 Information

2011年4月3日に因島で被災者支援チャリティーコンサートが行われます!!

2011年４月３日（日）いんのしまさくら祭実行員会と因島観光協会が「因島公園内」の「ホテルいんのしま」前の広場で被災者支援チャリティーコンサートを開催します。
因島村上水軍陣太鼓を始め、日舞、ハーモニカアンサンブル、地元出身アーティストのミニコンサート、日舞の披露などが予定されています。また会場では飲物、さくら餅、ソフトクリーム、うどん、お弁当、ホルモンうどん、焼きそばなどの販売がございます。
詳細は、社団法人因島観光協会（0845-26-6111）まで、お問い合わせください。
＊　「因島公園」は因島でも屈指の桜の名所となっています。

I.T.C Innoshima Technical Center Public relations magazine

日本財団 The Nippon Foundation 助成事業

第11号
平成23年5月1日発行
制作：運営協議会事務局

「東日本大震災」に被災されました皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

平成23年度因島技術センター初任者研修が始まりました!!

（入校式の様子）

（講義風景）

（実習風景）

平成23年４月６日（水）に平成23年度因島技術センター初任者研修入校式が執り行われました!!
本年度は一般研修生１名を含む10社・59名が入校し、３カ月間の基礎・基本研修に臨んでいます。
４月の研修は「共通基礎研修」と位置付けており、研修生は「安全教育」「安全体感研修」から、「工器具の取扱い方」「図面の見方」に至るまで、造船業に必要な基礎知識と技能を学びました。
４月20日（水）には、国土交通省中国運輸局因島海事事務所の長谷川伸壱所長、財務省神戸税関本管福山税務支署の山品毅因島出張所長をお招きして「船舶安全法」「税関の役割」についての講義を行うなど講師や指導員の皆さまの熱心な御指導のおかげで内容の濃い研修となっています。
５月は「共通基本研修」と位置付け、本格的な造船業の知識と技能の習得を目指していきます!!

尾道商議所記念館において『「てっぱん」・造船の町尾道』企画展を実施しています。

（尾道商議所記念館）

平成23年４月１日～８月３日まで尾道商議所記念館において「造船の町尾道」企画展を実施しています。企画展では尾道市に集積された海事産業の姿や船が出来るまでの工程を詳しく紹介しています。今回は撓鉄に大きくスポットを当て、実際の工器具、矢盤木の展示のほか、パネルやキャプションを使用して撓鉄作業の工程も詳しく紹介しています。５月の大型連休には毎日1000名を超える来場者があり、多くの方に造船業について知って戴くことができました。皆様もこの機会に是非、尾道を訪れて見てください!!

（[造船の町尾道]企画展内部の様子）

安全への取り組み!!

～重大労働災害ゼロを目指して～
これまでの安全体感研修修了者数

現在 1705人

修了者が1,500名を超えました!!

尾道/因島 Information

しまなみサイクリングクーポンが発売中です!!

（平成23年3月19日（月）～平成23年10月31日（金）まで）

本州四国連絡高速道路株式会社が「しまなみサイクリングクーポン」を発売中です。通行料金が半額（250円）になるほか、しまなみ海道沿線の観光入場料、入浴料、宿泊料が割引になる「施設等優待割引クーポン」が付いています。お問合わせは、本州四国連絡高速道路株式会社まで!!

本州四国連絡高速道路株式会社

しまなみ尾道管理センター　〒722-0073　尾道市向島町6904　電話 0848-44-3700（代表）
しなまみ今治管理センター　〒794-0072　今治市山路751-2　電話 0898-23-7250（代表）

I.T.C Innoshima Technical Center
Public relations magazine

日本財団 The Nippon Foundation 助成事業

第12号
平成23年6月1日発行
制作：運営協議会事務局

「東日本大震災」に被災されました皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

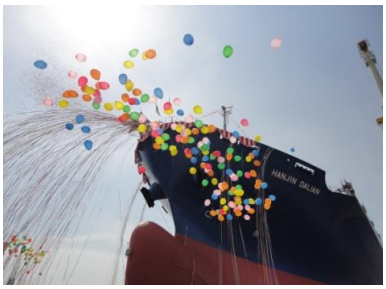
平成23年度因島技術センター初任者研修の5月研修が修了しました!!

（座学講義風景）

（ClassNKの特別講義風景）

（実技実習風景）

４月６日から始まった平成23年度の初任者研修ですが、早いもので２カ月目が修了しました!!
５月の研修は「共通基本研修」と位置付けており、研修生は図面の見方から、溶接、ガス切断、クレン、玉掛、造船組立など造船業に必要な基本技能をしっかりと学びました。５月16日（月）には、内海造船株式会社因島工場での進水式を見学したほか、５月19日（木）にはClassNKより、山口欣哉氏、発田将志氏を講師としてお招きして「船舶損傷事例と教訓」と題した特別講義を行いました。晴天に恵まれた進水式では、３万トン級の船が進水する様子を船台から見学することができ、研修生は自分が携わる仕事の大きに、改めて感動していたようです。研修は残り１カ月となりましたが、６月は「応用技能研修」と位置付けており、いよいよ各資格試験の受験が始まります。これから気温も段々と高くなりますが、研修の総仕上げとして暑さに負けず最後まで頑張りましょう!!


（内海造船株式会社因島工場の進水式を見学）

平成23年度の船舶海洋工学研修がスタートしました!!

（講義風景）

平成23年度の船舶海洋工学研修が、５月30日よりスタートしました!!
今年は海技研、因島、相生、今治の４拠点をテレビ会議システムで結び「船舶海洋工学概論」「流体力学」「推進性能」など14科目を３週間に亘って学びます。因島には６社13名の研修生が参加しています!!

安全への取り組み!!

～重大労働災害ゼロを目指して～
これまでの安全体感研修修了者数

現在 1705人

修了者が1,500名を超えました!!

尾道/因島 Information

CYCLE　MODE しまなみアイランドライド2011

参加者を募集しています（募集期間5月2日（月）～8月1日（月）まで）。

平成23年９月17日（土）・18日（日）にCYCLEMODEしまなみアイランドライド2011が開催されます。広島県尾道～愛媛県今治まで“島々を渡る”サイクリスト憧れの地“しまなみ海道”を疾走してみませんか。80km～190kmまでの４コースが設けられており、初任者から上級者まで体力に合わせたコース選択が可能です。
“走れば、全てが絶景の地”しまなみ海道を是非楽しんでください!!
【お問い合わせ】尾道市観光課 TEL：0848-25-7184（平日08：30～17：15）
サイクルモード事務局 TEL：06-6947-0284（平日10：00～18：00）

I.T.C Innoshima Technical Center Public relations magazine

日本財団 The Nippon Foundation 助成事業

第13号
平成23年7月1日発行
制作：運営協議会事務局

「東日本大震災」に被災されました皆様の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

平成23年度因島技術センター「船舶海洋工学研修」「初任者研修」が修了しました!!

平成23年度の「船舶海洋工学研修」「初任者研修」が６月17日、同30日にそれぞれ修了しました。本年度の修了者数は船舶海洋工学研修が13名、初任者研修が59名となり、初任者研修は13年間で820名と修了者が800名を超えました。これも国土交通省、日本財団、造船技能開発センターの御支援と会員企業皆様の御協力のおかげであり、この場を借りて御礼を申し上げます。また、指導員の皆様には長期間に亘る研修にも関わらず、並々ならぬ熱意をもって指導に当たって頂きましたこと心より御礼申し上げます。修了生の皆さん、お疲れ様でした!!

TV会議システムを活用して、海技研の研究発表会を聴講しました!!

平成23年６月28日(月)、28日(火)の両日、日本財団の御支援と海技研の御協力のもとＴＶ会議システムを活用した新しいコンテンツとして、海技研「第11回研究発表会」の聴講会を実施しました。因島、相生、今治の各センターが参加し、因島会場では４社４機関の計18名の参加がありました。海技研が行っている最新の研究について29テーマを聴講することができ、参加された皆様も熱心に聞き入っておられました。関係各位の皆様、お疲れ様でした!!

労働災害ゼロを目指して!!平成23年度の「安全体感研修(オーダー型研修)」を開講します!!

昨年度、皆様に好評を頂きました「安全体感研修(オーダー型研修)」を７月から開講致します。10名以上の申し込みにより、御希望の日時(午前の部又は午後の部)に合わせて開講しますので、受講希望の方は運営協議会事務局までお問い合わせください!!

開講期間：　平成23年７月～平成24年３月
研修時間：　３時間30分（座学、体感時間含む）
①午前の部８時30分～12時00分
②午後の部13時00分～16時30分
受講定員：　各回とも25名まで（１日２回開講）
受講料　：　１人3,150円（消費税込）
持参物　：　①安全帽、②作業着、③安全靴
④脚絆、⑤安全帯、⑥筆記用具
連絡先　：　因島技術センター運営協議会
(尾道市因島総合支所しまおこし課)
担当　若住堅太郎
TEL0845-26-6212　FAX0845-22-2203
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：　http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

1年間で1600名以上が受講しています!!

安全への取り組み!!
～重大労働災害ゼロを目指して～
これまでの安全体感研修修了者数
現在 1705人

修了者が1,500名を超えました!!

尾道/因島 Information

2011いんのしま水軍花火大会が開催されます♡

平成23年７月23日(土)に因島の夏の風物詩である「宮島さん協賛2011いんのしま水軍花火大会」が開催されます。８号玉の大玉花火をはじめ3,000発の花火を30分間で一挙に打ち上げます!!また、今年から「デザイン花火」の募集を企画しており、因島南中学校２年生の藤野成美さんがデザインした「紅芯入菊先紅青(べにしんいりきくさきべにあお)」も打ち上げられる予定です。今年の夏は情緒豊かな瀬戸内・因島でスローライフを過ごされてはいかが？

・開催日時：平成23年７月23日(土)午後８時30分～　　＊ 荒天時は翌日順延
・問い合せ：いんのしま水軍花火大会実行委員会事務局 TEL0845-26-6212

I.T.C Innoshima Technical Center Public relations magazine

日本財団 The Nippon Foundation 助成事業

第14号
平成23年8月1日発行
制作：運営協議会事務局

「東日本大震災」に被災されました皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

大分地域造船技術センター事務局（佐伯市役所）と視察交流を行いました!!

平成23年７月６日（水）に佐伯市商工振興課（大分地域造船技術センター事務局）の皆さんが、因島へ来訪されました。株式会社三和ドックでは、寺西社長、中村取締役管理部長、尾道市因島総合支所しまおこし課を交えた意見交換会や寺西社長の御案内で工場見学会を行いました。昼食は佐伯市さんの希望により、〝広島名物お好み焼き〟へ御案内し、「てっぱん」を囲んで「鉄板（造船）」談義に華を咲かせた後、午後からは因島技術センターへと移動して安全体感施設と実習場を見学して頂きました。佐伯市の皆様には楽しい交流となりましたこと、心より御礼申し上げます。また、今後も各地域センターの皆様と交流を図らせて頂けたら幸いです。皆様の因島へのお越しを心よりお待ちしております!!

平成23年海の日「海事関係功労者表彰式」において指導員が感謝状を授与されました!!

感謝状の授与を受けられた指導員

- 配管艤装コース長　中村 有歳　様
- 配管艤装専門指導員 宮崎 正盛　様

平成23年７月19日（火）尾道市営因島中央駐車場多目的ホールにおいて、平成23年「海事関係功労者表彰式」が執り行われ、因島技術センターの指導員２名が永年に亘って人材育成に取り組んだ功績により、中国運輸局長から感謝状を授与されました。この度で、中国運輸局長より感謝状の授与を受けられた指導員は合計23名となります。指導員の皆様、誠におめでとうございます。

8月6日（土）に因島技術センターで「海事体験・学習講座（造船コース）」を実施します!!

平成23年８月６日（土）に海事都市尾道推進協議会の主催で中学生の親子を対象に「海事体験・学習講座（造船コース）」を実施します。これは、親子参加型の１日体験学習で造船業の仕事と魅力について学んで貰うことを目的としています。体験学習では、造船歴史講座や工場見学、新造船見学のほか、因島技術センター実習場での「溶接」「ガス切断」実習体験を行うなど、造船業の魅力を体験できる内容が盛りだくさんとなっています。子供達にとって楽しい夏休みの体験学習となりますよう、皆様の御協力をお願いします!!

安全への取り組み!!

～重大労働災害ゼロを目指して～
これまでの安全体感研修修了者数

現在 1743人

修了者が1,500名を超えました!!

尾道/因島 Information

因島水軍まつり（火まつり）

（海まつり）

水軍歴史絵巻「因島水軍まつり」が開催されます!!

８月27日（土）・28日（日）の両日は、しまなみビーチで因島水軍まつりが開催されます。因島を拠点に活躍した村上水軍の教えを現代に伝えるべく、27日の「火まつり」では松明武者行列や跳楽舞（戦勝を祝った踊り）のコンテスト、大筒花火披露（花火）などが、28日の「海まつり」では水軍の伝令船であった「小早船」を使用した小早レースが開催されます。このチャンスに尾道・因島へお越しになっては如何ですか？

I.T.C Innoshima Technical Center
Public relations magazine

日本財団 The Nippon Foundation 助成事業
第15号
平成23年9月1日発行
制作：運営協議会事務局

海事体験・学習特集号

親子参加型の「海事体験・学習講座（造船コース）」を実施しました!!

（造船歴史講座でお勉強!!）

（工場や船の大きさにびっくり!!）

（船舶レーダーも体験しました!!）

因島技術センターでは、平成23年８月６日（土）に市内の中学生親子５組10名を招待して、夏休みの体験学習「海事体験・学習講座（造船コース）主催：海事都市尾道推進協議会」を実施しました!! 盛り沢山のプログラムを用意し、午前中は内海造船株式会社の加登部長による造船歴史講座や工場、船舶見学を中心に行いました。初めは緊張した面持ちだった子供達も、船体ブロックや舶用ディーゼルの大きさに次第に圧倒され、船舶レーダーを操作して自分達の住む島が映った時は少し興奮気味に質問をしていました（親御さんの方が興奮？）。造船所の“美味しい給食”もしっかりと体験した後は、完全防備の“造船マン”に変身して、アーク溶接とガス切断にチャレンジしました。アーク溶接では指導員が驚くほどセンスが良く、将来は是非造船マンに…と期待を受ける子供もいたほか、ガス切断では自分のイニシャル型に切り出したピースを記念に持ち帰るなど、私達が予想していた以上に好評で、夏休みの良い思い出作りになった様です。子供達の体験学習は初めての試みでしたが、来年も…との要望が多く、今後も造船業の魅力を伝えていけるような形で継続したいものです。最後になりましたが、体感学習に御協力を頂きました関係各位の皆様、誠にありがとうございました。

（アーク溶接とガス切断を体験中!!）

（ブリッジの最上階で記念写真!!）

（ブリッジから見た景色!!）

体験学習に参加した中学生の皆さん!!

尾道市立瀬戸田中学校	重松丈太郎	君
尾道市立高西中学校	沖藤　辰哉	君
尾道市立高西中学校	山根　啓昴	君
尾道市立長江中学校	天野　晃	君
尾道市立長江中学校	石川賢次郎	君

撓鉄中級専門技能研修の受講者を募集します。（募集締切：平成23年9月22日(木)）

日　時　平成23年10月17日（月）～平成23年10月21日（金）
　　午前８時00分～午後５時30分
場　所　株式会社三和ドック
対象者　①撓鉄初級修了者又は②線状加熱作業ができる者
定　員　12名（４名１班）
受講料　因島技術センター会員企業　105,000円（税込）
　　その他の全国募集　157,500円（税込）
＊受講の詳細は、事務局までお問い合わせください。
　因島技術センター運営協議会事務局　担当　若住堅太郎
　TEL0845-26-6212　FAX0845-22-2203

安全への取り組み!!

～重大労働災害ゼロを目指して～
これまでの安全体感研修修了者数

現在 1759人

修了者が1,500名を超えました!!

I.T.C INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Innoshima Technical Center
Public relations magazine
日本財団 The Nippon Foundation 助成事業
第16号
平成23年10月1日発行
制作：運営協議会事務局

「東日本大震災」に被災されました皆様の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

平成23年度「撓鉄中級専門技能研修」の受講者が決まりました!!

平成23年度の「撓鉄中級専門技能研修」受講者が決定しました!!
今年度は６社10名の申し込を頂きまして、平成23年10月17日（月）より開講します。研修で皆様にお会いすることを楽しみにお待ちしております!!

～参加企業一覧～

・内海造船株式会社	２名	・北日本造船株式会社（青森県）２名	
・株式会社三和ドック	１名	・日本地区造修統括本部（神奈川県）２名	
・Hitz日立造船株式会社	２名	・株式会社篠﨑造船鉄工所（熊本県）１名	

平成23年度安全体感研修「夏季定期講習」を実施しました!!

安全体感研修「夏季定期講習」は、12社28名が受講されました!!
東京、相生、広島、山口、愛媛など遠方からの受講が多く、業種別に見ても造船業、舶用工業、電気工事業、製紙業、官公庁など幅広いものとなりました。受講日時を自由に選べる「オーダー型研修（10名以上で受付）」での受講が圧倒的に多いなか、１名でも受講可能な定期講習は、オーダー型研修の受講を検討するための“お試し”として活用される企業が多いようです。多数の従業員を派遣できない企業やオーダー型研修を検討される企業のため、今後も秋季（11月頃）、冬季（１月頃）、春季（３月頃）の各定期講習を実施する予定ですので、皆様の受講をお待ちしております!!

職業能力開発総合大学校能力開発センター「技能と技術」誌に論文が掲載されました!!

職業能力開発総合大学校能力開発センター（相模原市/独立行政法人雇用・能力開発機構）が発刊する「技能と技術（通巻265号）」誌に因島技術センターでの取り組みを纏めた論文が掲載されました!!これは職業能力開発総合大学校からの執筆依頼によるものです。論文テーマは「官民一体となった地域基幹産業の人材育成手法～因島技術センターの人材育成モデルと成功要因の一考察～」です。「技能と技術」誌は電子書籍となっていますので、お時間の許す時に御一読ください。また、感想などもお聞かせ頂けると幸いです!!（事務局：若住堅太郎）

http://www.tetras.uitec.ehdo.go.jp/GinouGijutu/index.html

1年間で1600名以上が受講しています!!

安全への取り組み!!

～重大労働災害ゼロを目指して～
これまでの安全体感研修修了者数

現在 1787人

修了者が1,500名を超えました!!

尾道/因島 Information

10月８日（土）に「尾道灯りまつり」が開催されます!!

「尾道灯りまつり」は尾道繁栄の礎を現代に再現し、ほのかに灯る雪洞を通して“癒しのまち尾道”の温もりを体感しようとするものです。雪洞は市内の小中学校の児童・生徒に“将来の夢”や“願い”を描いて16か所のお寺や海岸沿いに奉納して貰います。お寺を中心とした地域の歴史や文化、伝統を知ることで、自分の街に誇りち、地域を愛する感性を育むことを期待しています!!

開催日時：平成23年10月８日（土）18時00分～21時00分
http://www.onomichi-matsuri.jp/akari-matsuri/about.html

I.T.C INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Innoshima Technical Center
Public relations magazine
日本財団 The Nippon Foundation 助成事業
第17号
平成23年11月1日発行
制作：運営協議会事務局

「匠の技」を技能伝承!!

平成23年度の撓鉄中級(2級)専門技能が修了しました!!

(DVDを使用した座学講義風景!!)

(テストピースのマーキン作業中!!)

(プレスを使った一次曲げ加工中!!)

平成23年度の撓鉄中級(２級)専門技能研修を10月17日(月)～21日(金)の５日間に亘り、株式会社三和ドックにおいて実施しました。本年度は会員企業のほか、青森、神奈川、熊本の各県から参加があり、５社８名と聴講生１機関２名の計10名での研修となりました。座学講義では、撓鉄の理論を深く学ぶため、社団法人日本中小型造船工業会が製作した初・中・上級テキストと映像教材のほか、因島オリジナルのパワーポイント教材などを活用し、10時間以上に亘って実施しました。実技実習では、深絞りの皿型と鞍型を中心に因島オリジナルの実技用テキストと作業手順書を使いながら２人１組で学びました。また、上級カリキュラムである純捩れ板の施工にもチャレンジするなど、研修生は「匠の技」を少しでも多く学びとろうと真剣に取り組んでいました。研修最終日に行った修了試験では、研修生全員が良好な成績【学科試験を35点、実技試験を65点満点で評価し、合計が70点以上で合格としています。】を修めることができました。この場をお借りして、研修運営に多大なる御支援を頂きました、国土交通省、日本財団、社団法人日本造船工業会、社団法人日本中小型造船工業会、社団法人日本造船協力事業者団体連合会の皆様をはじめ、研修の実施に御協力を頂きました、株式会社三和ドック、運営協議会の皆様と指導員の皆様に厚く御礼申し上げます。

(線状加熱で曲面加工を施し、矢盤木で最後の測定中!!)

(修了式の記念写真を撮影!!)

研修生の皆様、お疲れ様でした!!

内海造船株式会社	河野武志、橋口優太郎
株式会社三和ドック	亀井秀一
Hitz日立造船株式会社	長友裕、藤田直幸
北日本造船株式会社	蔦林裕太、田中拓哉
株式会社篠﨑造船鉄工所	上﨑秀二
日本地区造修統括本部	村田修一、坂谷昂史

溶接中級(2級)専門技能研修の受講者を募集します。(募集締切:平成23年11月18日(木))

日　時　平成23年12月５日(月)～平成23年12月16日(金)
　　午前８時30分～午後５時00分
場　所　Hitz日立造船株式会社因島工場内
対象者　入社１～３年程度の造船技能者
定　員　10名～15名程度
受講料　因島技術センター会員企業　105,000円(税込)
　　その他の全国募集　157,500円(税込)
＊受講の詳細は、事務局までお問い合わせください。
　因島技術センター運営協議会事務局　担当　若住堅太郎
　TEL0845-26-6212　FAX0845-22-2203
　http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

安全への取り組み!!

～重大労働災害ゼロを目指して～
これまでの安全体感研修修了者数

現在 1787人

修了者が1,500名を超えました!!

I.T.C INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Innoshima Technical Center
Public relations magazine
日本財団 The Nippon Foundation 助成事業
第18号
平成23年12月1日発行
制作：運営協議会事務局

祝 厚生労働大臣表彰受賞

平成23年度職業能力開発関係厚生労働大臣表彰を受賞しました!!

（壇上にて表彰を受ける秋吉会長）

（表彰式後の様子）

平成23年11月18日（金）に、明治記念館「富士の間」（東京都港区元赤坂）において、平成23年度職業能力開発関係厚生労働大臣表彰式が執り行われ、因島技術センター運営協議会が「認定職業訓練の実施状況が極めて優良な団体」として厚生労働大臣表彰を受賞しました。式典には秋吉公廣会長が運営協議会を代表して出席し、厚生労働大臣【代理：津田弥太郎大臣政務官】より表彰状の授与を受けました。当該表彰は「認定職業訓練」「技能振興」「技能検定」の３分野において功績のあった事業者、団体、功労者が表彰対象となっており、本年度の認定職業訓練分野で団体表彰を受賞したのは、因島技術センター運営協議会の１件のみとなっています。これも一重に、運営協議会、指導員各位の御協力と熱意の賜物であり、また、国土交通省、日本財団、社団法人日本造船工業会、社団法人日本中小型造船工業会、社団法人日本造船協力事業者団体連合会をはじめ関係各位の御支援のお蔭でございます。この場をお借りしまして、皆様に厚く御礼を申し上げます。今後とも、御指導、御鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

（厚生労働大臣表彰式の様子）

（記念品の銀杯）

因島技術センター運営協議会の年表

平成11年４月	因島技術センター設立/初任者研修開講
平成13年１月	広島県知事より認定職業訓練校の認定を受ける
平成16年10月	撓鉄初級専門技能研修開講
平成17年11月	広島県知事表彰受賞
平成17年12月	溶接中級専門技能研修開講
平成18年３月	配管艤装初級専門技能研修開講
平成19年10月	撓鉄中級専門技能研修開講
平成22年３月	安全体感施設竣工
平成22年６月	船舶海洋工学研修開講
平成22年７月	安全体感研修開講
平成23年３月	PSPC塗装性能基準対策講座開講
平成23年11月	厚生労働大臣表彰受賞

因島技術センター安全体感研修「冬季定期講習」の受講者を募集します！！

日　時　平成24年１月23日（月）～平成24年１月27日（金）
①午前の部８時30分～　②午後の部13時00分～
＊ 午前と午後のお好きな時間を選択できます。
場　所　因島技術センター安全体感施設
対象者　どなたでも、１名から受講ができます。
定　員　午前、午後ともに各25名程度となります。
受講料　１人/3,150円（消費税込）
＊ 受講の詳細は、事務局までお問い合わせください。
因島技術センター運営協議会事務局　担当 若住堅太郎
TEL0845-26-6212　FAX0845-22-2203
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

安全への取り組み!!
～重大労働災害ゼロを目指して～
これまでの安全体感研修修了者数
現在 1821人

修了者が1,500名を超えました!!

I.T.C INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Innoshima Technical Center
Public relations magazine
日本財団 The Nippon Foundation 助成事業
第19号
平成24年1月1日発行
制作：運営協議会事務局

謹賀新年

昨年中は並々ならぬご厚情を賜り
厚く御礼申し上げます
寒さ厳しい折ご自愛下さいますよう
お祈り申し上げます
平成二十四年　元旦

溶接専門技能研修が修了しました！

去る、平成23年12月16日に因島技術センター溶接専門技能研修が修了致しました。この度は会員企業の他、山口県下関市の旭洋造船からも参加され、６社12名での研修となりました。10日間に亘る研修では溶接の基礎を学ぶと共に研修生は一人一人の苦手としていた部分や新たに見つかった全く予想していなかった問題に対して指導員と共にどう対処し、どう解決すればいいかを考考え、学ぶ機会になった事と思います。現場に戻られた研修生の皆さんは、この積み重ねが礎を築くと信じて日々の業務に邁進してくれる事を願っております。最後になりましたが研修の運営に多大なる御支援を頂きました、国土交通省、日本財団、社団法人日本造船工業会、社団法人日本中小型造船工業会、社団法人日本造船協力事業者団体連合会の皆様をはじめ、研修の実施に御協力を頂きました、内海造船株式会社、運営協議会の皆様、指導員の皆様に心より御礼申し上げます。

平成23年度因島技術センター配管艤装初級専門技能研修の研修生を募集しています。

平成23年度因島技術センター「配管艤装初級専門技能研修」の開講が決定いたしました。本研修は配管艤装の初歩として配管艤装の概要、簡単な管一品の製作、サポートの取り付け、配管及び合わせ管の取り付けについて座学講義と実技を通し、研修生一人一人の学びを確認すると共にそこから導かれる実践力を養います。

・日　程　平成24年２月６日（月）～２月９（木）＊４日間
・定　員　10名（会員企業、全国募集含む）
・受講料　因技C会員52,500円　その他企業105,000円（テキスト代含む）
・場　所　内海造船株式会社　重井事業所

因島技術センター安全体感研修「冬季定期講習」の受講者を募集します！！

日　時　平成24年１月23日(月)～平成24年１月27日(金)
①午前の部８時30分～　②午後の部13時00分～
＊ 午前と午後のお好きな時間を選択できます。
場　所　因島技術センター安全体感施設
対象者　どなたでも、１名から受講ができます。
定　員　午前、午後ともに各25名程度となります。
受講料　１人/3,150円（消費税込）
＊ 受講の詳細は、事務局までお問い合わせください。
因島技術センター運営協議会事務局　担当 若住堅太郎
TEL0845-26-6212　FAX0845-22-2203
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

安全への取り組み!!
～重大労働災害ゼロを目指して～
これまでの安全体感研修修了者数
現在 1839人

修了者が1,500名を超えました!!

I.T.C INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Innoshima Technical Center
Public relations magazine
日本財団 The Nippon Foundation 助成事業
第20号
平成24年2月1日発行
制作：運営協議会事務局

平成23年度因島技術センター配管艤装初級専門技能研修の研修生が決定しました

平成23年度因島技術センター「配管艤装初級専門技能研修」の研修生が決定致しました。この度は会員企業５社の他、中谷造船株式会社、村上秀造船株式会社、佐世保重工業株式会社からも参加され、８社10名での研修となります。

内海造船株式会社	松本康聖さん、西山拓弥さん
株式会社三和ドック	太田晃貴さん
ユニバーサル造船株式会社	村上亘さん
本瓦造船株式会社	山本佳弘さん
向島造機株式会社	安松義浩さん
中谷造船株式会社	濱井勇太さん
村上秀造船株式会社	加藤尚さん、田窪惇さん
佐世保重工業株式会社	達山彰弘さん

研修で皆さんにお会い出来る事を心待ちにしています！

過去の研修生の感想

*管一品の製作を頼む側だったので作り手の気持ちが分かった。

*四日間で私が一番心に残っている事は『合わせ管』の製作です。フランジからフランジまでの長さを出す際、初めは何も教わらないで自分で考え寸法を出さないといけなかったので、とても困ったのを覚えています。寸法を出した後、自分の寸法の出し方の悪かった点と良かった点を教えて下さり、とても勉強になりました。

*いくら許容範囲とはいえ、やはり普段の作業と一緒で後戻り作業にならない様に慎重に作業した。人には出来ない物を自分は身に付けたと思い、明日もまた頑張りたいです。

*指導員の先生がおっしゃっていた様に、速く、正確にを心がけてやっていかないといけないと思ったが、それには普段の作業も一緒で、もっと経験が必要だと思った。

国土交通省より安全体感施設の視察がありました

平成24年１月19日、「船舶の航行の安全確保」及び「船員の労働保護」を行う国土交通省運航労務課、神戸運輸監理部海上安全環境部より、４名の方が全国の船員労務官の安全教育のカリキュラムに当センターの安全体感研修を組み込むか否かを検討するため、視察に来られました。今回の視察では当センターの実体験型、オープン参加型研修を通して得られる海難事故や船員の労務災害防止への有効性を説明しました。

視察の様子

従業員の安全教育の一環として是非御利用下さい

因島技術センターでは安全体感研修の受講者を募集しています！
１日２回実施しますので、希望の時間を選択して下さい。
受講時間　：３時間30分程度
①午前の部：08時30分～12時00分
②午後の部：13時00分～16時30分（各定員25名程度）
受講料金　：3,150円（消費税込）
持 参 物　：①筆記用具②作業着③安全帽
④安全靴（長編又は短編+脚絆）⑤安全帯
（安全帯をお持ちでない方は、事務局まで御相談下さい。）

因島技術センター運営協議会事務局　担当　若住堅太郎
TEL0845-26-6212　FAX0845-22-2203
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

安全への取り組み!!

～重大労働災害ゼロを目指して～
これまでの安全体感研修修了者数

現在 1842人

修了者が1,500名を超えました!!

I.T.C
INNOSHIMA TECHNICAL CENTER
SINCE 1999

Innoshima Technical Center
Public relations magazine

日本財団 The Nippon Foundation 助成事業

第21号
平成24年3月1日発行
制作：運営協議会事務局

平成23年度因島技術センター配管艤装初級専門技能研修が修了しました

平成23年度因島技術センター「配管艤装初級専門技能研修」が修了しました。まだまだ寒さの厳しい中、研修生の皆さんは懸命に配管艤装の基礎を学び、無事全員が配管艤装３級を取得する事が出来ました。この度の研修では指導員の皆さんは研修生一人一人が何を学びたいかを聞き、カリキュラムを随時変更したり研修生の技量を育てるだけでなく、会社に戻ってからも『仕事に対する姿勢』や『学ぶ側の心づもりが自らの可能性を広げる』という事を熱意をもって指導して下さいました。研修生の皆さんはこの経験を是非活かして各会社で活躍して頂きたいと思います。最後になりましたが研修の運営に多大なる御支援を頂きました、国土交通省、日本財団、社団法人日本造船工業会、社団法人日本中小型造船工業会、社団法人日本造船協力事業者団体連合会の皆様をはじめ、研修の実施に御協力を頂きました、内海造船株式会社、運営協議会の皆様、指導員の皆様に心より御礼申し上げます。

座学講義

テキストとＤＶＤを使用

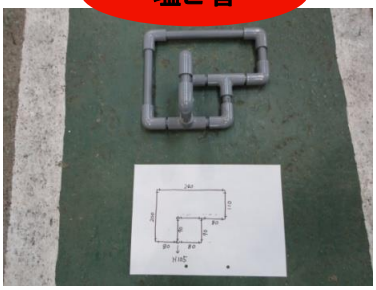
ベンダー作業

ベンダーによる管の曲げ加工

銅管のロウ付

銅管の枝管取付

塩ビ管



塩ビを使った応用研修

管一品・合わせ管

研修生による管一品・合わせ管

配管艤装3級習

無事全員が配管艤装３級を取得！

工場・船舶見学

内海造船の新造船建造現場の見学

因島技術センター安全体感研修がDVD化される事となりました！！

因島技術センターでは「安全体感研修」を随時開講しております。体験型の安全研修を通して、日常作業の中で身近に起り得る災害に対する危険回避能力を養ってもらう事を目的としています。しかし、第15回、16回造船技能開発センター運営委員会の中で『遠方等の事情により参加出来ない方も大勢いるのではないか』『安全体感研修に参加出来ない方の為に安全体感研修を映像化して欲しい』との提案が寄せられました。そこで、新人・専門研修分科会で安全体感研修のＤＶＤ化が検討され、因島技術センターがＤＶＤ教材の製作に全面的に協力する事となりました。

＜安全体感研修についての問い合わせ先＞
因島技術センター運営協議会事務局　担当　若住堅太郎
TEL0845-26-6212　FAX0845-22-2203
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

安全への取り組み!!
～重大労働災害ゼロを目指して～
これまでの安全体感研修修了者数
現在 1857人
修了者が1,500名を超えました!!